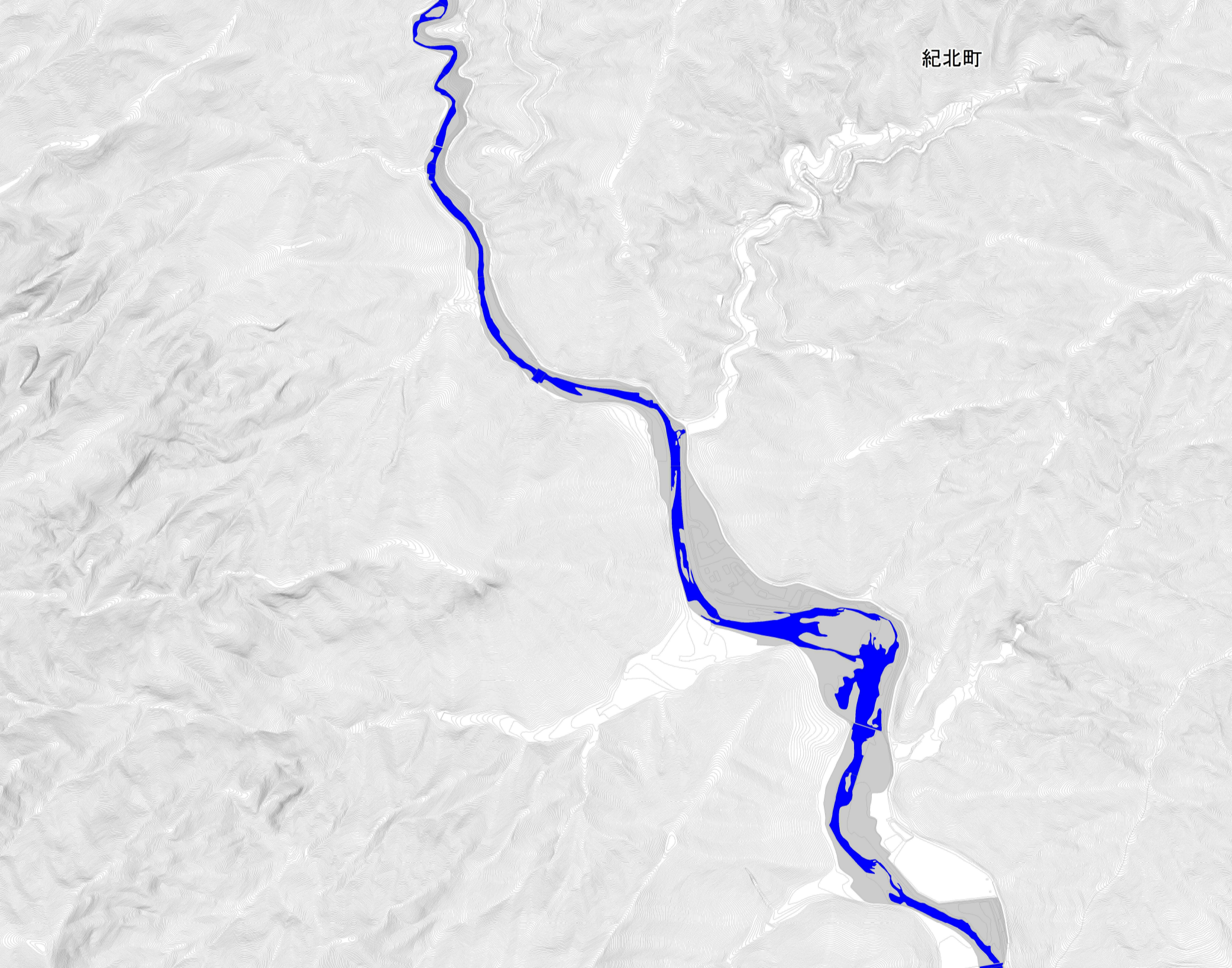
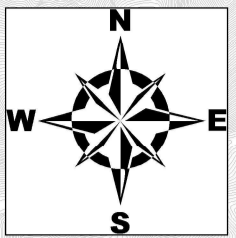


船津川水系往古川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



洪水浸水想定区域(想定最大規模)の該当なし

1. 説明文
(1) この図は、船津川水系往古川について、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の往古川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により往古川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(洗堰による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等
(1) 作成主体 : 三重県
(2) 公表年月日 : 令和4年5月24日
(3) 対象となる河川
・ 船津川水系往古川
 検討対象区間 左岸：北牟婁郡紀北町船津字東山から北牟婁郡紀北町中里字日向山まで
 右岸：北牟婁郡紀北町船津字樋ヶ谷から北牟婁郡紀北町船津字稲荷堂まで
(4) 算出の前提となる降雨 : 往古川流域の24時間の総雨量1,212mm
(5) 関係市町 : 紀北町
(6) その他計算条件
①この図は、往古川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。
②この図は、往古川において一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、往古川三重県管理区間の2.8kmから6.3km地点において想定したものです。
③氾濫計算は、対象区域をおよそ5m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

